

人間発達学部

教養部会講師 東條 文治

1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
古生物学事典	2010. 6. 10	朝倉書店、日本古生物学会編	古生物学に関する最新の事典。項目：全球凍結、縞状鉄鉱床、ピカリアを執筆。
原生代後期のスターチアン氷河堆積物も赤道近くで堆積した	2010. 7. 1	岩波書店, 科学, vol. 80, No.7	7億年ほど前のスターチアン氷河時代も地球全体が凍結したとする新しい証拠が示されたことを解説した。680頁～681頁。共著者：東條文治・川上紳一
生命の起源：地球最古の地質学的証拠をめぐる論争	2010. 10. 1	岩波書店, 科学, vol. 80, No.10	最古の生命の証拠とは何か？有力な物証について、それらの根拠と問題点を解説した。1054頁～1056頁。共著者：川上紳一・東條文治
名古屋芸術大学周辺の自然環境調査 III—地衣類の理科教育への利用—	2011. 3. 22	名古屋芸術大学紀要、第32巻	名古屋芸術大学周辺を利用した、地衣類調査による教育プログラムについて検討した。251頁～259頁。
地衣類調査をテーマにした科学教育プログラムの構築に向けて	2010. 7. 11	日本地衣学会第9回大会（千葉県立中央博物館）	地衣類の調査・学習をテーマとした課題解決型科学教育プログラムの提案。地衣類の分布や環境指標としての研究。共同発表者：川上紳一・東條文治
アンモナイト、オウムガイ標本を用いた課題解決型理科授業の展開	2010. 11. 27	理科教育学会第56回東海支部大会（岐阜聖徳学園大学）	アンモナイトやオウムガイを用いた、小学校理科における化石学習の教材開発と授業展開について。共同発表者：川上紳一・竹中諒・東條文治
「進化する地衣類図鑑」—地衣類調査をテーマにした科学教育プログラムのための地衣類図鑑の開発—	2010. 11. 27	理科教育学会第56回東海支部大会（岐阜聖徳学園大学）	地衣類の調査をテーマにした科学教育プログラムと教材の開発について。共同発表者：川上紳一・佐久間結実・東條文治

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項	
授業科目 教養講座（自然）		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要		教材・資料等の概要
野外での調査によって自然の事物事象に興味関心をもち、科学的な見方考え方を身につける活動を行った。各自が実際に撮影した動植物を図鑑を使って同定する活動や、自作した天体望遠鏡での月の観測など、実感を伴った自然科学の学習活動ができた。		

3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他

最古の石博物館夏季特別展 2010「白尾 元理氏写真展：生きている地球」	2010. 7. 4～9. 5	岐阜県七宗町の最古の石博物館の 2010 年度夏季特別展の展示企画を岐阜大学 の川上紳一教授とともに製作した。
---	-----------------	---